

フレッシュマン・セミナー

Freshman Seminar

2010(H22)年度

科目番号 1316102 標準履修年次 1 実施学期 1 単位数 1

担当教員 金野秀敏，笠原次郎，鈴木健嗣，文字秀明，亀田能成，八十島章

オフィスアワー 随時 ただしメールで事前にアポイントをとってください

授業概要 大学での生活，学習についての指導を行いつつ，教員と学生および学生間のコミュニケーションを図る。併せて，コンピュータ利用についてのガイダンスと施設見学，専門分野学習への動機付け支援を目的としてキャリア教育を行う。

学類教育目標との関連 目標：3.1 国際的にも活躍できるコミュニケーション能力 [100]

授業の狙い 本学で学習するうえでの「導入教育」であり，大学における学習を有意義なものとするために，電子メールの利用法やパワーポイントの利用法を学び，コンピュータをもちいたコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を養う。また，充実した大学生活を送るための基礎知識を身に着け，将来の夢に向かって，大学において何をどのように学び，暮らすかというビジョンを描く手助けをする。

受講生に望む事 教員，学生との様々な形での積極的なコミュニケーションを通して，大学生としての自覚を身につけていただきたい。

受講生の到達レベル 本学における勉学の規則を理解すると共に，電子メールによるコミュニケーション能力，WEBの柔軟な活用法，パワーポイントを利用した魅力あるプレゼンテーション基本的能力を身につけること。学生生活から就職に至るまでのキャリアパスを大まかにイメージすること。

各週授業計画 第1，2週：学類オリエンテーション合宿に引き続き，(1)本学の教育システムについて（教養教育の位置付けを含む），(2)履修計画について，(3)「筑波スタンダード」，「単位の実質化」に関する説明，(4)学生生活について，(5)キャリア支援について（キャリアポートフォリオ，就職・進学など），を確実に理解すると共に，L棟5階の計算機室で工学システム学類のコンピュータをどのように使用するのかを学ぶ。そのなかで，TWINSによる受講科目の登録方法，などを体験する。

第3，4週：学生らによる計算機や工作室の自主運営について紹介を受ける。パワーポイントの使い方などを学び，発表能力・コミュニケーション能力の幅を広げる。

第5，6週：自分自身の生き方を考える，キャリア教育の第1歩として，1人の持ち時間を5分程度に設定して，パワーポイントを用いてお互いに自己紹介する。その後質疑応答を行う（というより茶々を入れあう。クラスにより異なる）。

第7，8，9週：将来の進路分野を認識するため，学類の幾つかの研究室を見学し，卒業研究を行っている4年生，大学院生と交流する。また，図書館利用と文献検索を体験する。

第10週：自分の将来の夢は何か，それをどうやって実現させるかを考えるため，本学類担当教員などが，自分の夢を実現させるためにどのようにして学生生活を送ったかという体験談を交えた話を聞く。

教科書 なし

参考書 なし

成績評価 パワーポイントによるプレゼンテーションとレポート課題の採点結果により評価する。

関連情報

関連科目